

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月20日			
平成15年度	事業コード		電話	042-769-8227
担当部課名	市民部	戸籍住民	課	住居表示 係
事務事業名	住居表示整備事業整備費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	63以前 年度
施策名	第 施策	

2 実施根拠及び関連法令等

住居表示に関する法律	相模原市住居表示に関する条例
------------	----------------

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
住所の表示について、土地の地番を用いる方法は、地番区域が広いところや地番が順序に並んでいない場合は、住所の表示が分かりにくいものとなっている。このため、街区符号及び住居番号を用いて表す方法に変更し、市民生活の便宜の向上を図る。	田名塩田地区 86ha 上鶴間・鶴野森地区 221ha 対象数 307ha
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
田名塩田地区住居表示整備事業	実施日 平成14年6月1日 町名 田名塩田一丁目から田名塩田四丁目 規模等 面積 86ha 世帯数 673世帯 人口 1653人
上鶴間・鶴野森地区の住居表示事業の推進	上鶴間地区住居表示連絡協議会に出席 4回 鶴野森地区住居表示説明会 2回
相模原市住居表示審議会	開催日 平成14年12月25日 大字上鶴間及び鶴野森地区の住居表示について、「町の区域」「町名」を審議した。
(4)個別計画の概要	概要
計画名 住居表示整備事業	計画地 田名塩田地区(13年度からの継続事業) 上鶴間・鶴野森地区
計画年次 15年度～18年度	候補地 田名地区(水郷田名)

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	実施率(田名塩田)	実施面積/計画面積 86ha/86ha	住居表示を実施すべき区域に対し住居表示がされたか		100	100	100	100
	住居表示連絡協議会等に出席など推進活動	出席回数/協議会等開催回数 6回/6回	住居表示事業の推進及び合意形成が必要である。	100	100	100	100	

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	0	3,936	3,856	55,029	14,000
人員・時間数	1	1	1	1	1
人件費	8,390	8,390	8,390	8,390	8,390
その他経費					
合計	8,390	12,326	12,246	63,419	22,390
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	0	43	43	221	50
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	286.7	284.8	287.0	447.8

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	田名塩田一丁目から田名塩田四丁目の住居表示が円滑に実施できた。 上鶴間・鶴野森地区の住居表示は、事業化にむけてスケジュールどおり進んでいる。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	田名塩田地区は、区画整理されており住居表示は、効果的である。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	住居表示整備事業は、地域の合意が得られ、実施効果が上がる地域を対象に連続性をみながら実施している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 事業内容は常に見直しており、田名塩田地区については、街区案内板の数を減らしている。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
		住居表示事業は、他市も委託で行っている。事業費は、市街地の密集度や業務内容によるため、各市違いがある。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	
事業は、地域の合意や理解を前提として、市街地としての成熟度や連続性など実施効果が望める地区で実施する。		

12 二次評価コメント

--